

平成22年度公開講演会の開催

平成22年度のNPO法人食品保健科学情報交流協議会の公開講演会を下記の趣旨で開催しました。

健康に影響はないことが分かっているのに、食品がリコール・自主回収され、廃棄される事例があとをたちません。時には軽微な問題が大々的に報道され、安全の問題とコンプライアンスの問題が混同され、残留基準値オーバーでは健康に問題のない食品の回収・廃棄が当然と受け止められています。私たちは食材の多くを海外に依存しながら平気で食べられるものを捨てる現状に強い疑問を持ちます。食品リコールの現状を分析し、海外での同種の事例への対応なども参考にしつつ、あるべき方向をともに考えてみました。

講演内容は、[題をクリックするとお読み頂けます。](#)

主催： NPO 法人食品保健科学情報交流協議会

： 社団法人日本青果物輸入安全推進協会

日時 平成22年10月5日（火） 13時30分から16時55分まで

場所 中央区立日本橋社会教育会館8階ホール（案内図参照）

東京都中央区日本橋人形町一丁目1番17号 電話番号 03-3669-2102

プログラム

開会あいさつ

食科協理事長 関澤 純氏

座長 食科協常任理事 森田邦雄氏

(1) 基調講演 食品リコールの現状と課題（45分）

社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会（NACS）常任理事 古谷由紀子氏

(2) パネル討論（15分×4名）

①消費者の立場から

全国消費者団体連合会事務局長 阿南 久氏

②味の素(株)の取組み

味の素株式会社健康ケア事業本部健康ケア開発企画部専任部長（品質保証担当）天明 英之氏

③報道機関の立場から

読売新聞社社会部記者 畑 武尊氏

④東京都の取組み

東京都福祉保健局健康安全部食品監視課 課長補佐 帯刀 敏彦氏

休憩（15分）

(2) 意見交換会（15時35分～16時50分）

(3) 閉会あいさつ

4 定員 200名（先着順で締め切らせていただきます。）

5 参加費（資料代等） 食科協会員 1,000円 その他 6,000円